

訪問リハビリテーション終了後の生活に関する研究

1. 研究の対象

2013年4月から2014年3月に訪問看護ステーショングラーチアにおける訪問リハビリを終了した方

2. 研究目的・方法

訪問リハビリは目標指向的に実施され、目標達成をもって終了にするという、長期的な介入を問題視する文献が散見されています。しかし、訪問リハビリ終了後の生活を追跡調査し、訪問リハビリを終了することによる生活への影響については十分に検討されていません。今回、訪問リハビリを終了した脳卒中患者のADL、IADL、および生活範囲が、訪問リハビリ終了時から変化しているかを追跡調査します。さらに、終了した1症例について、訪問リハビリにより獲得した活動が終了後の生活にどのように影響したかに着目し、調査します。

本研究においては、訪問看護ステーショングラーチアリハビリ部門データベース、対象者の診療録を用いて後方視的に調査します。さらに、訪問リハビリを終了した後の調査に関しては、実際に利用者宅を訪問し、直接評価させていただきます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、機能的自立度評価表、Frenchay Activities Index、Life Space Assessment 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院訪問看護ステーショングラーチア
リハビリテーション部門 研究責任者 石森卓矢
住 所：群馬県伊勢崎市大手町1番1号
TEL：0270-20-1588 FAX：0270-20-7677